



圓岡 伸夫 議員

# 眼圧検査もすべきでは

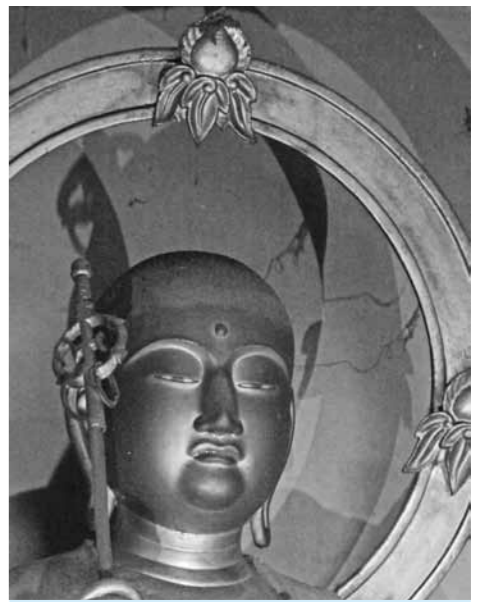
町長 当面現在のまま

〔圓岡〕町では3診療所で人間ドックを実施しているが、日本人間ドック学会が示す基本検査項目に対し、眼圧検査と呼吸機能検査がない。

同学会の眼底検査判定マニュアルには、検査時に高眼圧であった場合、その時点で眼底所見に緑内障性変化がなくても、1年以内に急激な進行を見ることもあると書かれている。

センター化をめざす大山診療所では、学会が示す基本検査項目に基づいた人間ドックを実施すべきでないか。

〔町長〕検査項目を追加することは、医療機関に新たな検査機器の設置が求められ、人間ドック実施医療機関との協議が必要になる。よって人間ドックの健診項目は当面現在のものを継続する。



理観院の本尊 地藏菩薩

# 理観院をまちづくりを生かせ

町長 所有者の意向を尊重

〔圓岡〕大山寺では、かつて42坊あった僧坊も、今では数えるほどしか残っていない。

その中でも、理観院は「県民の建物100選」にも選ばれた歴史的価値のある建物である。

まちづくりに理観院を生かす考えはないか。

〔教育委員長〕宗教学者が所有する建物なので、政教分離の観点からできることは限りがある。

〔町長〕まちづくりに生かすには修繕が必要だ。所有者の意向を尊重して慎重に協議を進める必要がある。

# 災害時にこれで大丈夫か 今後対応を考える

町長

〔圓岡〕災害時の業務継続計画は、本場に機能するの不安である。人的資源に、了解を得た退職OBも入れるべきではないか。

〔町長〕この計画は基本的に現在の職員で行うものだと考えている。

〔圓岡〕大山支所の受水槽から手動で水を取り出す方法はあるか。

〔町長〕バケツでのくみ出しが可能である。

〔圓岡〕職員用の食糧・飲料水や毛布の公務備蓄の状況はどうか。

〔町長〕現時点ではない。今後対応を考える。

|               |                           |                                      |
|---------------|---------------------------|--------------------------------------|
| ②水、食料等の備蓄     | 水 (全職員の3) 日分              | 水、食料、簡易トイレ、消耗品等の備蓄については、全職員の1週間分とする。 |
| 食料 (全職員の3) 日分 | 仮設トイレ (簡易トイレ0日分、携帯トイレ0日分) |                                      |
| 消耗品等 ( ) 日分   |                           |                                      |

今後の検討事項

- ・起動点検を毎年度実施する。
- ・備蓄消費後の燃料確保のため、事業者との協定を結ぶ。
- ・水、食料、簡易トイレ、消耗品等の備蓄については、全職員の1週間分とする。

国のガイドラインにはこう書いてある

# ふるさと納税の現状は

町長 財政は助かる



西尾 寿博 議員



〔西尾〕平成20年から始まったふるさと納税制度は、寄付者が年々増加し平成27年度には約1億7300万円にもなった。

平成27年度の収支決算はどうか。

〔町長〕返礼品の拡大などによって寄付が増え、7600万円の黒字となった。

〔西尾〕高島屋と連携したふるさと納税を利用した大山での環境整備のトイレ改修事業の状況はどうか。

〔町長〕目標額5000万円の内、9月12日現在で16人から65万円の寄付をいただいた。

〔西尾〕ふるさと納税制度は、今後も続くと思うがもっと寄付金を集める気持ちはあるか。

〔町長〕安定した財源ではないが財政は助かる。

〔西尾〕寄付者を大山の応援団にできないか。

〔町長〕大山へ愛着を持つってもらう大きなツールになると思う。

# 減塩、うす味の啓発は

町長 自宅の味を知ることから



遠藤 幸子 議員



学校給食はおいしいね

〔遠藤〕まったなし健康づくり運動が2年目になる。食の観点から、食育、減塩、うす味の普及、啓発について尋ねる。

〔町長〕大山町国保加入者の健診結果では、高血圧の人が県平均より多い。肥満度、血糖値の結果からメタボリック症候群も多い。血圧改善のためには、減塩の普及が待ったなしの状況と認識している。

昨年度から食生活改善推進委員協議会と連携して、自宅での味の濃さを知る取り組みを始めた。

今後の減塩活動では、街頭啓発、減塩味噌汁の試飲、料理実習など、減塩生活の実現を進めたい。

〔教育委員長〕保育所、学校でも保護者へ食に関する指導や情報提供を行い、望ましい食習慣の定着に取り組んでいる。

給食も素材の味を生かし、子どものころから塩分控え目の味付けが、自然と身に付くよう工夫している。

今後も食育の推進に努める。